

国労気仙沼地域分会
2011年3月29日(火)
№ 110



気仙沼

全組合員が協力し組織拡大強化と
労働条件の維持改善を勝ち取ろう
発行責任者 熊谷泰幸
編集責任者 分会教宣部

いま被災地は…！！！ 進まぬライフラインの復旧



3月27日現在の被災地の状況はどうだろう。俗に言うライフライン。水道・電気・ガス等々。

水道／上水道は出たが、下水道は使用可能かわからず。

電気／通ってはいるがどうやら電源車による発電らしい。本開通はまだのようだ。

ガス／市内は都市ガスではなくプロパンガスなのでまだ大丈夫。市内で大丈夫だったガス会社が市内を回り、自分のところの利用者以外のところでも、無い場合は入れて歩いている。

携帯電話／通じる場所限定では有るがauとdocomoは通じる。softbankは通じない。

固定電話／電話局が津波で崩壊したので当分無理のようだ。

燃料／だいぶ緩和はされて来

ているが、まだ充分ではない。大船渡地区は、稼動しているガソリンスタンドが持ち回りで、その日3,000円入れられるスタンドを一箇所決めて、その他はまだ2,000円しか入れられないようだ。ただしガソリン缶を持っていけば、20㍑缶に19㍑まで入れてもらえるとの事だ。灯油については限度は無いらしい。

さて分会の被害状況は、秀三さんの死亡はもとより、

自宅崩壊寸前 1件
宿舎(JRAP)の流出・焼失 5件
床下浸水 1件
自家用車の流出 2台

以上が主な被害状況である。

3月29日現在、27日早朝1時頃から停電となっていた電気もようやく復旧。水道については、トイレの大便と小便、油、野菜くず、糸くず、髪の毛以外は下水道に流してもOKとなった。

ガソリンについては、満タン可能のスタンドが出てきた。今日は病院へ行った帰り、灯油2缶を入れてきた。灯油については限度は無いようだ。

携帯についても、だいぶ基地局の設置も出て来ているが、まだ自宅での受信は難しく異動が必要だ。基地局にs bも！

日増しに良くなってきていく。内陸のスーパーの方が物が無いように思える。

掲示板

この間以下の異動がありました。

3月 1日付 気仙沼駅へ 佐々木政和さん(一ノ関駅より)

3月 14日付 盛駅へ 金野雅之さん(気仙沼駅より)

4月 1日付 陸前高田駅へ (ジャスター／千厩駅預かり)
小野寺清人さん(盛駅より出向)

となります。今後ともよろしくお願ひいたします。